

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人ぶさん会

目 次

- I. 法人本部 事業報告 ----- 1 ページ
- II. 指定障害福祉サービス事業所
柿の木苑 事業報告 ----- 6 ページ
- III. 相談支援センター柿の木苑
事業報告 ----- 28 ページ
- IV. 指定就労継続支援B型事業所
ワーク柿の木苑 事業報告 --- 31 ページ
- V. 地域生活支援センター柿の木苑
(介護サービス包括型指定共同生活援助)
事業報告 ----- 37 ページ
- VI. 委員会活動 事業報告 ----- 45 ページ

I. 令和4年度 社会福祉法人ぶさん会

法人本部 事業報告

1. 法人理念

「ぶさん会」は
利用者様のために
地域のために
未来のために
お役に立つ法人であり続けます。

2. 基本方針

- ① 利用者様が地域で安全安心に暮らせれるように、自立支援に務めます
- ② 利用者様を中心に、事業所は創意工夫に努め、生きがいとなる福祉サービスをご提供できるよう務めます。
- ③ 求められている新しい福祉サービスをご提供できるよう創造し続けます。
- ④ 利用者様を中心に、事業所、ご家族様、地域住民が連携できるよう、協力と助け合いに務めます。
- ⑤ 利用者様、ご家族様、地域住民の未来のために、事業所は常に研鑽に務め、次世代を担う人材の育成に取り組み、公正で誠実な人材を育てていく事を目標とします。

3. 倫理綱領（平成31年3月制定）

利用者様が、人間としての尊厳が守られ、豊かな人生を自己実現できるように支援をしていきます。私たちは支援者の一人として、確固たる倫理観を持って、その専門的役割を自覚し自らの使命を果たします。

1). 生命の尊厳

私たちは、利用者様一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。

2). 個人の尊厳

私たちは、利用者様の、一人の人間としての、個性、主体性、可能性を尊びます。

3). 人権の擁護

私たちは、利用者様に対するいかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、人としての権利を擁護します。

4). 社会への参加

私たちは、利用者様が、年齢、障害の状態などにかかわらず、社会を構成する一員としての市民生活が送れるように支援します。

5). 専門的な支援

私たちは、自らの専門的役割と使命を自覚し、絶えず研鑽を重ね、障害のある人たちの一人ひとりが豊かな生活を実感し、充実した人生が送れるように支援し続けます。

4. 経営事業

(1) 第二種社会福祉事業

(イ) 障害福祉サービス事業の経営

(ロ) 特定相談支援事業の経営

(ハ) 障害児相談支援事業の経営

(ニ) 障害児通所支援事業の経営

(2) 公益事業

日中一時支援の事業

5. 令和4年度の取り組み

(1) ほぞの3号館補助申請

新型コロナウイルス感染拡大のため、休業し、職員も利用者様も気が休まらない1年でした。コロナ対策に注力するため、グループホームほぞの3号館の補助申請は見送りました。コロナ禍が落ち着いてから、また、エネルギーや建築資材高騰で経済の動向を見据えてから、計画を再開します。

(2) BCP（感染症）の訓練と BCP（防災）の策定

新型コロナウイルス感染拡大のため、休業・事業再開を BCP に沿って行いました。訓練以上の成果がありました。

BCP（防災）は着手できませんでしたので、次年度の課題とします。

(3) 組織力の向上

職員の人手不足で、営業日数を減らしたり、入浴サービスの実施日数を減らしたり、安全に提供できる範囲でサービスを実施しました。ぎりぎりの配置の職員数でしたので、安全確保を優先し、事故がないように報連相を徹底した結果、組織力は向上したと思います。ただし、職員不足が続くと、疲弊につながりますので、補充は継続します。

(4) 利用者様への統一した支援

障害者自立支援の基本に立ち返った1年でした。職員の意識が統一でき、支援のベクトルが合ってきたと感じます。部門によってはアセスメントをやり直し、ニーズに合致した個別支援計画が策定できました。細やかな支援の見直しで、丁寧なサービス提供ができました。コロナ禍で家族との連携が弱い場面もありました。来年度の課題とします。

(5) ハラスメント防止対策

令和4年4月1日より中小企業主はパワーハラスメント防止措置が義務化されました。都度、顧問の社会保険労務士にアドバイスいただき、対応してきました。

(6) 定員変更

柿の木苑の定員変更を行いました。

就労継続支援B型 20名→24名

生活介護 20名→16名

来年度以降も定員の見直しを行います。

6. 資金について

- (1) 令和4年3月の計画に基づき、令和5年3月に補正予算を行いました。
- (2) 資金は前期繰越金及び経理区分間繰入金収入、運用収入で賄いました。
- (3) 民間補助金を活用しました。

7. 役員の定員

理事 6名 監事 2名 評議員 7名

8. 法人理事会及び評議員会の開催

第1回理事会 令和4年 5月24日(火) 12:30～

第2回理事会	令和4年 7月 7日 (火)	12:30～
第3回理事会	令和4年 7月20日 (水)	13:00～
第4回理事会	令和4年 8月30日 (火)	12:30～
第5回理事会	令和4年10月11日 (火)	12:30～
第6回理事会	令和5年 1月24日 (火)	12:30～
第7回理事会	令和5年 3月28日 (火)	12:30～

ZOOMを利用して、オンライン参加を可能としました。

定時評議員会	令和4年6月8日 (水)	10:30～
臨時評議員会	令和5年2月9日 (木)	10:30～

9. 補助金について

#	補助金	交付拠点	金額
1	青森県医療・福祉施設等物価高騰対策支援金	柿の木苑	1,177,000円
		相談支援センター柿の木苑	100,000円
		ワーク柿の木苑	200,000円
		地域生活支援センター柿の木苑	300,000円
2	公益社団法人 中央競馬馬主社会福祉財団 令和4年度施設整備等助成金 (作業車 トヨタハイエース)	ワーク柿の木苑	2,310,000円
3	八戸市障がい福祉サービス事業所物価高騰対策支援金	柿の木苑	123,000円
		相談支援センター柿の木苑	21,000円
		ワーク柿の木苑	60,000円
		地域生活支援センター柿の木苑	140,000円

10. 家族との懇談会

新型コロナウイルスの感染防止のため、開催を中止しました。

11. 職員配置

令和4年3月現在

事業所	勤務形態	施設長・管理者	事務員	サービス管理責任者	児童発達支援管理責任者	嘱託医	看護職員	作業療法士	機能訓練指導員	職業指導員	目標工賃達成指導員	相談専門支援員	生活支援員	児童指導員	保育士	栄養士	調理員	世話人	合計
本部	常勤	(1)	(2)																(3)
柿の木苑	常勤	1	2	1	1		1			1	1		3	1	1	1	1		15
	非常勤					1	1	1	1	1	(2)		2	1			2		10
相談支援センター	常勤	(1)										1	(3)						1
	非常勤											1							1
グループホーム	常勤	1		(1)									3						4
	非常勤																	3	3
ワーク柿の木苑	常勤	(1)		1						1	1		1						4
	非常勤					(1)					1								1
合計	常勤	2	2	2	1		1			2	2	1	7	1	1	1	1		24
	非常勤	(1)				1	1	1	1	1	1	1	2	1			2	3	15

* () 内の人数は兼務の職員の数

Ⅱ. 令和4年度 指定障害福祉サービス事業所

柿の木苑 事業報告

Ⅱ－1. 柿の木苑全般

1. 運営について

新型コロナウイルス感染症のために、休業を余儀なくされた時期があり、運営面でかなり影響を受けました。また、利用控えや自宅待機者も増え、利用者様の稼働率の低迷が続き、収入が減っております。

職員の人手不足も続き、手薄になると事故のリスクも高まりますので土曜営業日を減らし、安全に営業することを優先としました。

電気をはじめ光熱費、食材費、衛生費にかかる経費の値上げが相次ぎ、支出が増えています。特に電気は契約していた新電力サービス会社が撤退を表明し、電力難民となりかけました。政府系セーフティネット（東北電力ネットワーク）に契約変更し、東北電力の新規契約再開を待ちました。9月には、東北電力と再契約できました。電気料金は高騰していますが、職員・利用者様から節電の協力が得られ、前年対比25%減の使用量でした。

2. 令和4年度の重点目標

- ① 利用者様への支援方針の統一
- ② セクシュアルハラスメントに対する問題意識の統一
- ③ 新型コロナウイルス感染症対策
- ④ BCP（防災）策定（業務継続に向けた計画）
- ⑤ 老朽化に伴う建物、設備、機器の整備保守

3. 各目標における反省と成果

① 利用者様への支援方法の統一

障害者自立支援の初心に戻り、全職員で振り返りをしました。

アセスメントによりニーズに沿った個別支援計画の設定。統一した支援の実施。モニタリングでの評価と個別支援計画の見直し。PDCAサイクルを繰り返し、利用者様一人一人の支援方法が適しているのか、チームで深めることができました。

職員間での統一は図れておりますので、今後は家族との意識の統一、連携に力を入れていきます。

② セクシュアルハラスメントに対する問題意識の統一

社会保険労務士によりハラスメントに対する勉強会を開催し、ハラスメ

ントへの理解を深め、意識の統一を図りました。ハラスメント対策の手順の再認識もしております。

③ 新型コロナウイルス感染症対策

2年間感染を広めることなく乗り越えてきましたが、令和4年度はクラスターが2回発生してしまいました。一度ウイルスが持ち込まれると、一気に感染が広がりました。休業し、消毒を徹底しました。再開後もマスク、手洗い、消毒の徹底、健康観察を継続しました。感染防止のため外出行事はほとんど中止、室内行事減らしました。

④BCP 策定（業務継続に向けた計画）

新型コロナウイルス対策のBCPは、感染者発生の都度使用しました。BCP（防災）は策定できませんでした。

⑤老朽化に伴う建物、設備、機器の整備保守

令和3年度に故障が多く発生し、細やかに対応したので、令和4年度は修繕が少なかったです。

4. 年間稼働率

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計	1日平均 利用者数
事業名	営業日数	21	21	21	23	22	21	23	22	22	21	20	22	256	
放課後 等デイ サービス	登録者数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11		3.5 人
	授業後	73	60	69	54	97	87	76	65	75	93	70	96	915	
	休日	60	54	69	42	17	86	72	64	55	55	66	60	700	
	延べ利用者数	13	6	0	12	80	1	4	1	20	38	4	36	215	
	延べ定員	210	210	210	230	220	210	230	220	220	210	200	220	2,590	
定員 10名	稼働率	34. 8%	28. 6%	32. 9%	23. 5%	44. 1%	41. 4%	33. 0%	29. 5%	34. 1%	44. 3%	35. 0%	43. 6%	35.3 %	目標 55%
就労継 続支援 B型	登録者数	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	24		17.6 人
	延べ利用者数	397	387	433	358	352	379	407	363	390	348	350	405	4,569	
	延べ定員	504	504	504	552	528	504	552	528	528	504	480	528	6,216	
定員 24名	稼働率	78. 8%	76. 8%	85. 9%	64. 9%	66. 7%	75. 2%	73. 7%	68. 8%	73. 9%	69. 0%	72. 9%	76. 7%	73.5 %	目標 88%
生活 介護	登録者数	23	22	22	22	22	22	22	22	22	21	21	20	23	12.4
	延べ利用者数	279	280	297	269	265	264	291	265	248	241	250	273	3,222	

定員 16名	延べ定員	336	336	336	368	352	336	368	352	352	336	320	352	4,144	人 目標 90%
	稼働率	83.0%	83.3%	88.4%	73.1%	75.3%	78.6%	79.1%	75.3%	70.5%	71.7%	78.1%	77.6%	77.8%	

5. 月別入退所

(単位：人)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
放課後等 デイ	入													0
	退										1		1	2
就労B型	入	3												3
	退													0
生活介護	入													0
	退	1								1		1	2	5
合計	入所	3												3
	退所	1								1	1	1	3	7

6. 退所理由

① 放課後等デイサービス

退所理由	人数
家庭の都合により	2

② 就労継続支援B型 退所者なし

③ 生活介護

退所理由	人数
死亡	1
事業所変更（他法人）	2
自宅療養のため	1

就労継続支援B型へ	1
-----------	---

7. 居住地別利用者数 R5年3月31日現在 (単位：人)

居住地	八戸市	階上町	五戸町	おいらせ町	南部町	三戸町	合計
放課後等デイ	11						11
就労継続	23			1			24
生活介護	16	2		1	1		20
合計	50	2	0	2	1		55

8. 福祉サービスの評価と改善

① 就労継続支援B型・生活介護 第三者委員面談

令和4年8月26日～令和5年3月13日 毎月1回実施

面接人員 39名 (就労継続支援B型、生活介護)

面接者：八ネット福祉オンブズマン (令和4年8月契約)

② 第三者委員の所感

- ・苦情は特になし。
- ・カフェレストランを手伝っている利用者さんは皆さん楽しそうに話してくれます。
- ・作業に対しての不満も聞かれず、失敗しても、スタッフが優しく対応してくれるので、うれしいという声もありました。
- ・自由時間にネイル、アイロンビーズなど好きなことができるのと喜んで見せてくれ、楽しんでいる様子。
- ・生活介護のフロアに消火器が2つありますが、右側のコーナーにある消火器の回りに、いろいろ物を置きがちなので注意が必要かと感じました。
- ・コロナもまだ油断はできませんが、少しずつやれる事も増えると利用者さんの楽しみも増すのではないかと期待しています。

③ 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

改善内容 又は改善 目標	チェック項目	はい	いいえ	工夫している 点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・整備体制	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動ごとに場所を区切っている。	個別課題エリアは、一人一人の集中力に合わせて可動式のパーテーションを使用し、環境調整を行っている。
	2	職員の配置数は適切である	○			送迎時間が重なった場合は、他部門と連携し対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		スロープ、多目的トイレを設置している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日、職員間でのミーティングを行っている。	今後も継続して行き、情報共有、問題の早期解決、対応方法の統一に努めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表に加え、自由記入欄を設け、記入して頂いている。	保護者の意向を職員間で把握し、日々の支援、対応に活かしていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			自己評価によって課題を見出し、事業計画に反映している。また、理事会で報告している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月1回の事業所内での研修やサポートカレッジを活用している。	サポートカレッジの動画は月1回以上視聴する時間を設け、職員一人一人の知識、技術の向上を図っている。
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上	○		評価表にて細かく分け、アセスメントを行	今後も継続し、丁寧に面談、アセスメントを行い、現在のニーズ、状況にあった個

	で、放課後等デイサービス計画を作成している			っている。	別支援計画を作成していく。
10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		気付きのチェックリスト、遠城寺式評価表も活用している。	今後も活用して、細かく丁寧にあセスメントを行い、都度見直しを行っていく。
11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ミーティングの際タイムスケジュールを作成し、支援を行っている。	今後も継続して一人一人に合わせたスケジュールを組み立てていく。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		タイムスケジュールをファイリングし、活動の見直しを行っている。	今後も継続し、目標に沿って常に新しい活動を取り入れていく。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		苑内でのレクリエーション、集団活動、個別活動等行っている。	新型コロナウイルス感染症予防対策の為、長期休暇中の外出等少なかった為、苑内でのレクリエーション、集団活動、個別活動に力を入れた。平日は、自分で選んで活動できる「好きな事」のスケジュールを設けるようにしていた。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用人数が多い日、下校時間が早い日、長期休暇中は集団活動を取り入れている。	児童同士でのコミュニケーションを大切に、楽しく活動できるよう計画していく。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎回、個別のタイムスケジュールを作成し確認している。	スケジュール、送迎担当、下校時間の確認、前日の様子についての申し送り、注意して見守る点等確認している。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎回ミーティングを行っている。	今後も継続して情報共有を行い、状況に応じて支援内容の見直し、対応方法の確認を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記入漏れの無いよう、メモを残し、記録している。	今後も計測し、対応、支援の検証を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		ケース会議で見直しを行っている。	今後も継続し、一人一人の能力や達成度等も考慮しながらより細かく見直ししていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○		同じ組み合わせにならないよう考慮している。	今後も振り返りを行い、新しい活動も取り入れていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者、主任が行っている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		送迎時の情報共有、電話での確認等を行っている。	今後も密に連絡を取り、情報共有に努める。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		看護師が主体となっている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		電話での情報共有、支援、対応についてのアドバイスを頂いている。	今後も密に連絡を取り、情報共有に努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行	○		移行先の職員と面会し、情報共有を行っている	本人の能力や性格、現在の課題などを事前にまとめ、確実に情報提供が行えるよ

		する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			る。	うに努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		本人、家族へのアプローチ方法などアドバイスを頂いている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		新型コロナウイルス感染症予防対策の為、今年度は実施していない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		法人としては、相談支援、就労分野での参加はあるが、児童での参加はない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳で情報共有している。	今後も密に連絡を取り、必要に応じて個別で電話での対応、面談を行い、家庭・学校・事業所での対応に大きな差が無いよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		家庭での対応について等、助言を行っている。	一人一人の不安に寄り添い、丁寧に助言、助言後のフォローだけでなく、次の目標設定等も家族の意向を十分に取り入れる為、面談を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明し、質問があれば都度説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談しやすい関係を築けるよう努めている。	家庭での対応や家族が感じる不安等についての相談にも丁寧に応じるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		家族との懇談会は、新型コロナウイルス感染症予防対策の為、今年度は実施していない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情の窓口等、契約時に説明したり、事業所内廊下に掲示している。	今年度、苦情等はなかった。今後苦情があった場合にはマニュアルに沿って、迅速・適切に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		法人の会報発行、行事等の写真を連絡帳に貼ってお伝えしている。	家族から「活動中の参観をしてみたい」との要望があった。今後の状況に応じて検討していく。
	35	個人情報に十分注意している	○		研修等で職員に周知徹底している。	今後も個人情報の取扱いに十分注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じて、連絡帳、口頭での二重の説明、確認を行っている。	今後もより、分かりやすい説明を行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		例年は年1回の「柿の木苑まつり」を開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、開催していない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		職員へ周知徹底している。	家族へは年度初めの家族との懇談会でマニュアル説明を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、開催していない。今後の状況に合わせて、説明方法を検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難・救助訓練を行っている。	児童が利用している時間帯での実施が少ない為、長期休暇中等担当者で開催時期の検討を行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		委員会を設置し、研修を行っている。	今後も事業所内での研修や、サポートカレッジの動画視聴行い、虐待防止を徹底していく。

41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		危険防止の為の制止等、状況、必要性時間帯を個別支援計画に記載し、説明し同意を得ている。	定期的に必要性について委員会やモニタリングの際に検討していく。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーのある方へは説明し、医師から除去食等の指示書を頂くようにしている。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			委員会を設置し、事業所内の研修で事例検討を行っている。	今後も事例検討を行い、再発防止に努めていく。

9. 職員体制

施設長 1 名、サービス管理責任者 2 名、児童発達管理責任者 1 名、生活支援員 5 名（3 名非常勤）、職業指導員 1 名、目標工賃達成指導員 1 名
 看護職員 2 名（1 名非常勤）、機能訓練指導員 1 名（委託）、児童指導員 2 名（1 名非常勤）、保育士 1 名、嘱託医 1 名

10. 勤務体制

・正職員

月曜日～土曜日 シフトによる勤務 祝日はお休み
 8 時 30 分～17 時 30 分（休憩 1 時間）

・準職員は契約による。

11. 人事異動

- ・入職 正職員 1 名
- ・異動 正職員 2 名
- ・退職 パート 2 名（1 名期間満了）
- ・産休・育休 正職員 1 名

1 2. 職員研修

日 程	研 修 名	研 修 内 容	主 催	所 属	参 加 者
7月21日	令和4年度安全運転管理者講習	講義	青森県安全運転管理者協会	柿の木苑	生活支援員 1名
10月12日	防犯訓練	不審者侵入したときの対応	警備会社	柿の木苑	全職員

*コロナ禍で中止する研修がありました。

1 3. 実習・研修受け入れ

新型コロナウイルス感染症予防のため、一部の受け入れを制限しました。

- ・ 青森県立八戸第一養護学校 高等部2年 6月7日～10日 1名(就労)
- ・ 青森県立高等支援学校 普通科2年 5月19日～26日 1名(就労)
- ・ 青森県立高等支援学校 普通科2年 5月23日～27日 1名(就労)
- ・ 青森県立高等支援学校 普通科2年 12月12日～16日 1名(就労)
- ・ 青森県立高等支援学校 普通科3年 1月31日～2月10日 1名(就労)

1 4. 地域交流

- ・ 入学式 運動会 学習発表会 (すべて来賓なしとなりました。)
- 地域の行事は、新型コロナウイルス感染拡大のため、殆ど中止となりました。
- ・ 長坂公園の清掃ボランティア 3回実施

1 5. 健康管理

- 新型コロナウイルス感染症 事故報告(八戸市提出)
 - 7月22日 利用者9名 職員2名
 - 10月28日 利用者10名 職員2名
 - 12月22日 利用者1名
 - 1月17日 職員1名、利用者1名
- 新型コロナウイルス対応
 - ① 法人の方針に則り、毎日の検温、手洗いうがい、マスク着用、消毒を徹底しましたが、第7波、第8波の感染拡大期には感染者が多数でした。
 - ② 感染者が出た場合、休業し消毒作業を行いました。保健所、行政に報告、

BCPに沿って、業務再開。

- ② 県外の旅行は、4回のワクチン接種をもしくはPCR検査の結果が陰性であることを確認して、出勤。(無料PCR検査を利用)
- ③ 感染者が判明したときは、抗原検査キットにて全員検査を実施
- ④ 自宅待機については、国の方針に従いました。

- ・利用者胸部X線撮影 5月19日
- ・利用者健康診断(嘱託医) 5月24日 10月11日 2回実施
- ・利用者歯科検診 コロナ禍のため実施せず
- ・インフルエンザ予防接種 (実費) 11月22日
- ・職員健康診断(健診センター) 9月 その他採用時検診実施

16. 安全管理

- ・総合防災訓練(地震) 年2回 令和4年11月30日、令和5年3月2日
- ・避難訓練実施(火災) 年3回 令和4年5月18日、9月7日、令和5年2月15日
- ・消防設備点検(外部委託業者) 柿の木苑・地域交流センター(2棟) 年2回 6月9日、12月2日
- ・消防自主点検 年4回 令和4年4月22日、8月1日、11月4日、令和5年1月10日
- ・電力需給契約 令和4年9月2日
政府系セーフティネットから東北電力へ再契約
- ・電気月次点検(東北電気管理技術者協会) 毎月1回
令和4年4月4日、5月11日、6月14日、7月6日、8月4日
(重点点検)、9月7日、10月5日、11月16日、12月15日、
令和4年1月16日、2月8日、3月20日
*令和4年5月25日
関東東北産業保安監督部東北支部より保安管理業務外部委託業者変更承認
*高圧負荷開閉器 製造後15年経過 交換が必要
- ・自動ドア点検(外部委託業者) 年2回4台 4月11日、10月24日
- ・ガス設備検査 年1回 5月18日
- ・エレベーター点検(外部委託業者) 毎月1回
令和4年4月4日、5月9日、6月13日、7月7日、8月23日、9月22日、10月7日、11月10日、12月8日、
令和5年1月12日、2月6日、3月9日
*巻上機ブレーキオーバーホール作業 10月6日
- ・昇降機定期検査報告(八戸市報告) 年1回 6月22日
- ・防犯 柿の木苑本体、地域交流センター(2棟) 民間警備会社契約

「防犯サービス」「火災監視サービス」「クラウド防犯カメラ」

17. 衛生管理

- ・ 厨房害虫ねずみ定期点検防除（外部委託業者） 4月22日、7月8日、10月21日、1月20日
- ・ グリーストラップ汲み取り（外部委託業者） 8月29日、2月13日
- ・ 所定の場所へ手指消毒剤の設置と利用の義務付け、カップの消毒等。
- ・ 浴室の消毒 外部委託は今年度はなし
- ・ 入浴設備等の細菌やかびの発生を予防するため換気、通風を行いました。2台特殊浴槽のタンクの消毒は毎月職員で実施しています。
- ・ ワックス施工（外部業者）12月10日

18. 給食

- ・ 給食会議 令和4年度は開催せず。
- ・ 給食嗜好調査 年2回実施 7月11日、令和4年3月8日
- ・ 保健所査察 令和4年度は実施なし
- ・ 特別食 ソフト食、刻み食、とろみ食、減塩食、後期食の対応をしています。
- ・ 定期点検 業務用冷蔵庫・業務用冷凍庫・真空包装機 10月24日
製氷機・消毒保管庫・業務用食器洗浄機・
スチームコンベクションオーブン 令和5年2月2日

19. 建物、設備、機器の整備

- ・ 八戸市建物定期調査報告（建築事務所委託） 令和4年11月29日
- 備品購入
 - ・ 2棟多目的室FFストーブ設置 4月25日
 - ・ 2階作業室、訓練室ロールスクリーン取り付け 6月28日
 - ・ 防犯カメラ増設 11月7日

○ 修繕・クリーニング

- ・ 厨房扉交換 5月28日
- ・ LED交換（就労作業室、玄関、応接室）6月8日
- ・ 1Fサッシ修繕 8月10日
- ・ タイヤ小屋整備 11月 日
- ・ 柿の木苑 ワックス施工 12月10日
- ・ 非常灯不点灯3か所修繕 12月19日
- ・ プレハブ小屋シャッター工事 12月21日
- ・ 2棟 水道自動水抜き修理 2月3日

20. 行事・レクリエーション活動報告

日程	実施内容
4月19日	花見 五戸ひばりの公園（就労）
4月20日	花見ドライブ（生活介護）
8月10日	室内レクリエーション（放課後等デイ）
10月31日	ハロウィン（生活介護）
12月23日	クリスマスお茶会（それぞれの部門で）
3月3日	ひなまつり（生活介護）
3月3日	調理実習（紅茶・コーヒーゼリー）（就労）

*コロナ感染拡大のため行事の中止がありました。

21. 土曜日活動報告

月	日数	内容
4	1	クイズ大会
5	2	散歩（根城史跡）、室内レクリエーション
6	0	
7	2	七夕飾り作り、八戸市美術館外出「11ぴきのねこ」
8	1	DVD鑑賞（ドキドキ映画で涼しくなろう）
9	1	室内レクリエーション
10	3	細かなイラストの塗り絵を楽しむ、室内レクリエーション（モルック）、DVD鑑賞
11	1	ババ抜き大会、レトロTVゲーム大会
12	2	スポーツ大会（卓球）クリスマス工作
1	2	新春ババ抜き大会、DVD鑑賞
2	1	オリジナルシール作り
3	0	

*コロナ禍のため、中止することもあり、回数が例年より減っています。

22. 機関紙発行

柿の木苑だより（生活介護利用者様作成） 3回発行
 柿の木苑だより号外（就労利用者様作成） 5回発行

Ⅱ-2. 就労継続支援B型 事業報告

1. 支援実施状況

令和4年5月より定員を20名から24名に変更し、八戸高等支援学校から3名、八戸第一養護学校から1名の受け入れを行い、令和5年3月末時点で契約者数は前年度より4名増加しています。稼働率は契約数の増加とコロナ禍での休苑・病気や怪我による連日の欠席が目立った利用者様が数名いましたので低下していますが、昨年と比べてサービス費の収入は増加しています。

生産活動においては目標売上金額を緊急事態宣言前の金額へ近づける様に設定しましたが、喫茶店の継続的な営業と積極的な請負作業の受け入れを行なう事で目標金額以上の売上を達成する事ができました。職員と利用者が日々の作業で効率の良い方法を考え、努力し、自主的にアイデアを出し合うことで作業能率が向上したものと思われます。一方、今後の問題点として社会情勢を踏まえた原材料・光熱費の高騰、屋外作業の要員不足、定員増加による平均工賃維持の難化なども明らかである為、状況に合わせた計画や対策が必要です。感染症の緩和が見込めない状況であった為、日頃の就労に対しての余暇となるプログラムが立案できなかったのが来年は外出や運動・外部販売の参加なども多く計画していきます。

生活面の支援では年齢を重ねるごとに衰えや能力の低下が目立つ利用者に対して外部サービス（GHや介護ヘルパー等）の調整を行ない、場合に応じて自宅訪問や相談支援専門員との連携を強めました。近い将来、障害福祉サービスから高齢者のサービスに切り替わる方も予想されているので心身の状態やご自宅の状況などの把握に努めました。個別支援計画においても作業面ではなく生活に特化した個別の学習プログラム（お金の使い方・対人関係について等）を取り入れた方もいました。また、今年もアールブリュットにおける作品を多く手掛けた利用者が展示会の誘いを受けて謝礼を頂けるケースもありました。個人の能力を発揮できる分野を開拓できたので、引き続き広い視野を持ち、生きがいを意識した取り組みを行います。

今後も就労部門の定員が2名程増加する予定なので利用者様の獲得とそれぞれの目標に対して成果が挙げられるように支援の質を高めていきます。

2. 定員及び利用状況 定員 24名 登録者 24名

① 障害支援区分登録者 (単位：人)

区分2	区分3	区分4	区分5	合計
1	6	2	2	11

② 障害種別 (重複あり) (令和5年3月31日現在)

身体障害者手帳 (単位：人)

一種 一級	一種 二級	二種 一級	二種 二級	二種 三級	二種 四級	合計
4	3	0	0	0	0	7

療育手帳

(単位：人)

A	B	C	計
2	15	0	17

精神保健福祉手帳

(単位：人)

一級	二級	三級	計
0	2	0	2

③ 年齢別利用状況 (令和4年3月現在) (単位：人)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	合計
男性	0	3	4	0	2	4	13
女性	3	1	2	4	1	0	11
合計	3	5	6	3	3	4	24

3. 生産活動の収支分析

(1) 令和4年度生産活動、工賃実績

平均月額工賃 10,399 円 時給 128 円

月	売上	経費	粗利益	支払工賃	支払人数	平均工賃	収支残高
4	175,220	34,362	140,858	215,160	23	9,355	-74,302
5	228,026	35,670	192,356	223,180	23	9,703	-30,824
6	245,799	31,752	214,047	273,780	23	11,903	-59,733
7	951,330	450,865	500,465	198,480	23	8,630	301,985
8	388,590	183,811	204,779	194,925	22	8,860	9,854
9	425,587	235,851	189,736	235,375	22	10,699	-45,639
10	570,363	260,096	310,267	213,735	23	9,293	96,532
11	533,130	264,337	268,793	152,040	23	6,610	116,753
12	349,677	147,432	202,245	204,520	23	8,892	-2,275
1	313,799	210,934	102,865	190,870	23	8,299	-88,005
2	538,949	131,062	407,887	206,600	23	8,983	201,287
3	821,218	1,284,098	-462,880	376,065	24	15,669	-838,945
計	5,541,688	3,270,270	2,271,418	2,684,730	275	9,763	-413,312

*3月に喫茶部門のランチ経費を一括支払い

支払工賃・人数は平均工賃除外対象者含む

(2) 生産活動別収入

(単位：円)

生産活動	目標	実績
受託部門 (プレス、シール貼り、箱作り等)	3,500,000	3,467,028
喫茶部門	1,200,000	1,419,510
自主生産部門	100,000	52,890
農園芸部門	300,000	402,380
パソコン部門	10,000	7,580
軽作業(出張農作業、他)	100,000	192,300
合計	5,310,000	5,541,688

4. その他

4月	花見外出（五戸ひばりの公園） 生活訓練プログラム（お金の使い方について）
6月	長坂公園 ボランティア清掃参加
7月	
8月	
9月	調理実習（フライドポテト等）
3月	調理実習（紅茶ゼリー等）

アールブリュット ボールペン画 作品応募者1名

北海道・北東北の福祉とアート「届けたい 私たちが出会った表現」
秋田市文化創造館 スタジオA3 （2022年 9/22～9/28 まで展示）
弘前市 Gallery casaico （2023年 3/4～3/10 まで展示）

Ⅱ－３．生活介護 事業報告

１．支援実施状況

今期は介護にあたる職員の確保とコロナ禍における感染症対策を行いながらサービスを提供することが困難であり、5月より利用定員を20名から16名へ変更しています。6月末からは活動場所を一階から二階へ変更し、他部署と連携しながら利用者の見守りを行えるようにしました。入浴サービスは利用者様に週一回の利用で調整いただいています。退所者は3月末時点で6名いらっしゃいました。人員不足により重度の利用者様の受け入れが厳しい為、新規獲得は難しく、来年度も定員数の削減を予定しています。現在受け入れている利用者様の中には透析治療を行いながら通われている方や筋ジストロフィーにより身体の変化が顕著な方、I型糖尿病によりインスリン接種が必要な方など介護的に負担が大きい利用者が多く、また、年齢を重ねるに連れ精神的にも不穏が続いているケースもあります。一人一人の状態を把握し、質の高いケアを行えるようにスケジュール調整や支援の方向性を定めていきます。

月に2回の運動プログラムは、利用者様も意欲的に参加し楽しまれているので来年度も継続していきます。また、週2回のマッサージも同様に継続していきます。

２．定員及び利用状況 定員 16名 登録者 18名

① 障害支援区分別登録者 (令和5年3月31日現在)

区分	3	4	5	6	合計
人数	0	1	9	8	18

② 障害種別

身体障害者手帳

一種 一級	一種 二級	二種 一級	二種 二級	二種 三級	二種 四級	二種 五級	合計
11	4	0	1	0	0	1	17

療育手帳

A	B	C	計
11	6	0	17

精神保健福祉手帳

一級	二級	三級	合計
0	0	0	0

③ 年齢別利用状況 (単位：人)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	0	3	0	2	1	0	6
女性	0	7	3	2	0	0	12
合計	0	10	3	4	1	0	18

④ 入浴サービス利用者数 (延べ人数)

月	男性	女性	合計
4	16	49	65
5	14	59	73
6	13	54	67
7	7	37	44
8	1	4	5
9	11	42	53
10	10	46	56
11	5	21	26
12	2	42	44
1	6	27	33
2	6	11	17
3	10	31	41
合計	101	423	524

⑤ マッサージサービス利用者数

(延べ人数)

月	男性	女性	合計
4	10	49	59
5	12	46	58
6	12	46	58
7	11	38	49
8	6	22	28
9	12	40	52
10	12	46	58
11	6	25	31
12	11	43	54
1	10	37	47
2	8	47	55
3	13	40	53
合計	123	479	602

Ⅱ-4. 放課後等デイサービス 事業報告

1. 支援実施状況

今年度は、新型コロナウイルスによる柿の木苑の休業、各学校での学級閉鎖等の影響もあり、利用キャンセルとなる方が多くいらっしゃいました。新規利用の児童はおりませんでした。児童の状態に合わせて利用曜日の変更を行ったり、利用日数を増やす等ご家族様のご希望に沿った対応を行ってまいりました。

支援内容については、個別での課題等に力を入れてまいりました。児童一人一人の現在の能力を考慮し、将来の自立に向けて出来る事を増やす為に必要な課題（学習課題や、生活全般に関わる能力の訓練等）の提供を行いました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防にも力を入れてきました。フロアの清掃、消毒、換気の徹底と合わせ、児童同士や職員との適切な距離保持に努めました。また児童本人だけでなく、ご家族様へも手洗い、うがい、マスク着用の必要性を説明し、ご理解していただけるよう努めました。

2. 定員及び利用状況 定員 10名 登録者 11名

① 障害種別 (令和4年3月現在)

身体障害者手帳

一種 一級	一種 二級	二種 一級	二種 二級	二種 三級	二種 四級	合計
1						1名

療育手帳

A	B	計
1	5	6名

② 学年別利用状況 (令和1年3月現在) (単位：人)

学年	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	合計
人数	0	2	2	2	0	1	0	3	1	0	0	0	11

Ⅲ. 令和4年度 相談支援センター柿の木苑 (特定相談支援事業) 事業報告

1. 運営について

令和4年度は、3月末現在で82名の契約者がおり、前年度とほぼ変わりありません。職員は、5名の相談支援専門員（専従1名、兼務3名、委託契約1名）の体制で活動を行いました。現在の契約者数で手一杯のため、外出の機会を増やすことが難しく、新規契約は当法人のサービスを利用されている方のみに限らせていただきました。

令和4年度は、新型コロナウイルスの流行のため、業務が円滑にすすめられませんでしたが。特に7～12月にかけては、感染症予防対策の為、モニタリング等を簡略化した形で実施したため、一部加算がつきませんでした。また、モニタリング等の実施時期が1～2月遅延したり、本人や家族に会うことができず書類にサインをもらうのに時間がかかり、行政への提出が大幅に遅れることもありました。請求にも影響し、収入が減っています。

2. サービス利用支援（計画作成）数

① 障害種別

(単位：回)

月	身体	知的	精神	発達 障害	難病	障害児	計
4	3	7	2	0	0	3	15
5	2	2	1	0	0	1	6
6	1	1	1	0	0	1	4
7	1	0	0	0	0	0	1
8	2	1	1	0	0	1	5
9	0	2	0	0	0	1	3
10	0	2	0	0	0	1	3
11	1	2	0	0	0	1	4
12	2	0	1	0	0	1	4
1	2	0	0	0	0	0	2
2	0	0	0	1	0	1	2
3	1	3	1	0	0	1	6
計	15	20	7	1	0	12	55

② 市町村別

(単位：回)

	おいら せ町	十和田 市	南部町	階上	福島市	むつ市	八戸市	障がい児 (八戸市)	計
4月	1	0	0	0	1	0	10	3	15
5月	1	0	0	0	0	0	4	1	6
6月	0	0	0	0	0	0	3	1	4
7月	0	0	0	0	0	0	1	0	1
8月	0	0	0	0	0	0	4	1	5
9月	0	0	0	0	0	0	2	1	3
10月	0	0	0	0	0	0	2	1	3
11月	0	0	0	0	0	0	3	1	4
12月	1	0	1	0	0	0	1	1	4
1月	0	0	0	0	0	0	2	0	2
2月	0	0	0	0	0	0	1	1	2
3月	0	0	0	0	0	0	5	1	6
計	3	0	1	0	1	0	38	12	55

3.継続サービス利用支援（モニタリング）数

① 障害種別

(単位：回)

	身体	知的	精神	発達	難病	障がい児	計
4月	6	6	3	1	0	1	17
5月	7	6	1	0	0	4	18
6月	10	5	2	1	0	4	22
7月	5	4	1	0	0	3	13
8月	5	7	3	0	0	1	16
9月	5	10	2	0	0	4	21
10月	5	5	3	1	0	2	16
11月	7	5	2	0	0	2	16
12月	10	4	2	1	0	1	18
1月	5	6	2	0	0	2	15
2月	3	6	4	0	0	2	15
3月	3	11	3	0	0	4	21
計	71	75	28	4	0	30	208

② 市町村別 (単位：回)

	おいら せ町	十和田 市	南部町	階上	福島市	むつ市	八戸市	障がい児 (八戸市)	計
4月	1	0	0	1	0	1	13	1	17
5月	0	0	0	0	0	0	14	4	18
6月	0	1	1	0	0	0	16	4	22
7月	0	0	0	0	0	0	10	3	13
8月	0	0	0	0	0	0	15	1	16
9月	1	0	0	1	1	0	14	4	21
10月	0	0	0	1	0	1	12	2	16
11月	1	0	1	0	0	0	12	2	16
12月	0	1	0	0	0	0	16	1	18
1月	0	0	0	0	0	0	13	2	15
2月	0	0	0	0	0	0	13	2	15
3月	1	0	0	0	1	0	15	4	21
計	4	2	2	3	2	2	163	30	208

4. 年齢・男女別 利用者数 (令和5年3月31日現在) (単位：人)

年代	未就 学児	小学 生	中学 生	高校 生	10 代	20代	30代	40代	50代	60歳以 上	計
男性	1	3	1	2	0	9	3	7	11	7	44
女性	0	1	2	0	5	9	9	5	5	2	38
計	1	4	3	2	5	18	12	12	16	9	82

*10代は高校卒業の方に加え、中学・高校に進学されていない方も含まれます。

5. 職員研修

日程	研修名	研修内容	主催	参加者
10月7日 3月1日	八戸市障がい者 相談支援事業者 連絡会議	相談支援専門 員の情報の提 供・共有及び スキルアップ	八戸市障がい福祉課	管理者

上記研修は、感染症予防の為、いずれもオンラインで行われました。

IV. 令和4年度 指定就労支援継続B型事業所

ワーク柿の木苑 事業報告

1. 運営について

- ①平均稼働率は44.8%となり、目標の60%には至りませんでした。
- ②新規登録者は0名でしたが、退所者が1名でした。
体調不良にて長期間(約1年間)利用が無く、ご本人より「自宅での生活に集中したい。」との事で退所されました。

2. 支援目標における反省及び成果

- ①コロナ感染症や家事・手伝い等で数名の利用者の利用日数が減っており、稼働率も少し減少しました。
- ②体調不良・精神的不安定での長期欠席者がおりました。
- ③売上の総額は2,111,157円でした。コロナ渦における催事・イベントでの出店販売が減って、外部委託農作業も職員の人員配置ができませんでしたが、皆様の協力があり平均工賃は11,594円と昨年度よりアップしました。
- ④職員の入・退職が続き、作業を提供するにあたり人員の調整が難しい事がありました。人員の定着と切れ目のないサービスを提供できるよう取り組んでおります。

3. 苦情相談・解決

福祉オンブズマン面談 月1回 計12回実施

面接実施日：4/12、5/12、6/14、7/14、8/19、9/15、10/28、11/17、12/16、
1/18、2/20、3/16

面接人数96名

- ・職員不足による不満（もっと相談したい）と逆に声を掛けられすぎるのが嫌だという不満の声がありました。真摯に向き合い改善します。
- ・家庭の悩みもあり、オンブズマン担当者が傾聴しました。

4. 職員体制 (令和5年3月31日現在)

施設長 1名 (兼務)

サービス管理責任者 1名

生活支援員 1名

職業指導員 1名

目標達成支援員 1名

退職者 正職員 3 名
 嘱託 1 名（期間満了）

5. 勤務体制

勤務：月曜日～土曜日 8：30～17：30

休日：日・祝祭日

6. 職員研修

日 程	研 修 名	研 修 内 容	主 催	会 場	参加者
11 月 12 日	令和 4 年度サー ビス管理責任者 等研修	基礎研修	青森県社会福祉協 議会	アラスカ	1 名

7. 定員及び利用状況

定員 20 名

登録者数 12 名（令和 4 年 3 月 31 日現在）

(1) 年齢別

年齢	男	女	合計
～19	0	0	0
20～29	3	0	3
30～39	0	0	0
40～49	3	1	4
50～59	1	2	3
60～	2	0	2
合計	9	3	12

(2) 居住地別

居住地	八戸市	おいらせ町	三戸町	階上町	計
人数	11	0	1	0	12

(3) 手帳別

障害 手帳	精神 1 級	精神 2 級	愛護手帳 A 判定	愛護手帳 B 判定	身体 4 級
人 数	3	6	0	4	1

(4) 経済状況

経済状況	男	女	合計
年金受給	7	3	10
生活保護受給	0	1	1
家族の援助	1	0	1
合計	8	4	12

(5) 令和3年度稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年集計
営業日数	21	21	21	23	22	21	23	22	22	21	20	22	259
登録者数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	
延べ利用者数	211	183	229	214	179	169	185	186	203	185	169	208	2,321
延べ定員	440	420	420	460	440	420	460	440	440	420	400	440	5,180
稼働率%	50.2	43.6	54.5	46.5	40.7	40.2	40.2	42.3	46.1	44.0	42.3	47.3	44.8 %

(6) 入・退所者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

(7) 退所理由

退所理由	人数
体調不良・自宅での生活に集中する為	1

(8) 見学、利用体験・実習受入状況

見学 4/8、8/18、9/14、2/28、3/9 5名
利用体験・実習 高3 2名 30代男性 1名

7. 部門別実績

7-1 生産活動実績

1) 生産活動

リサイクル事業 リサイクル品の回収

古本事業 古本の販売
 受託作業事業 内職作業(箸作業、封筒の案内状シール貼り)
 軽作業事業 除草作業、マスク制作・販売

2) 催事出店

八商バザー (コロナ感染対策の為、未実施)
 はちまる て to て (コロナ感染対策の為、未実施)

3) 生産活動別収入

(単位：円)

月	売上	経費	粗利益	支払工賃	支払 人数	平均工賃	収支 残高
4	173,208	42,877	130,331	125,526	11	11,411	4,805
5	123,411	37,962	85,449	106,519	11	9,684	-21,070
6	195,365	93,973	101,392	129,425	11	11,765	-27,915
7	173,887	32,157	141,730	110,766	12	10,070	30,964
8	184,216	16,298	167,918	119,739	12	10,885	48,179
9	173,345	42,141	131,204	117,580	10	11,758	13,624
10	263,749	26,836	236,913	118,228	10	11,922	118,685
11	186,926	40,044	146,882	120,331	10	12,033	26,551
12	198,742	32,960	165,782	128,710	11	11,700	37,072
1	133,240	39,795	93,445	117,678	11	10,698	-24,233
2	154,895	29,545	125,350	109,542	11	9,958	15,808
3	143,376	36,449	106,927	189,731	11	17,248	-82,804
3月+年度末調整金となっております。							
計	2,104,360	471,037	1,633,323	1,493,775	131	11,594	139,666

事業名	目標	実績
リサイクル事業	1,500,000	1,317,528
古本事業	350,000	291,847
受託作業事業	250,000	210,018
軽作業事業		284,940
計	2,100,000	2,104,360

4) 工賃 1人当たり 平均月額工賃 11,594円
 平均時給 161,2円

7-2. 生活支援行事実績

○健康管理

血圧測定 週1回

体重測定 月 1 回
朝会での体操
健康維持学習会(看護職員による) 6/29、9/28、11/30
歯科検診 (コロナ感染対策の為、未実施)
職員健康診断(健診センター) 10 月
利用者様健康診断 5/19、10/11
インフルエンザ予防接種 11/22
胸部 X 線撮影 5/19

※利用者様の心身の状態を常に把握し、必要に応じて相談を行いました。

○室内行事

クリスマス会 12/23
節分 2/3
ひなまつり 3/3

○外出行事

新型コロナウイルス感染症対策をし、屋外へ外出行事を実施致しました。
花見 4/20
紅葉ドライブ 10/21

○運動プログラム (外部委託インストラクターによる)

5/18、9/21、12/25

8. 地域交流

ボランティア町内清掃 7/27、10/12

9. 会議等

- ・部門長会議 毎月 1 回 計 12 回
- ・職員会議 毎月 1 回 計 12 回
- ・生産活動運営会議 毎月 1 回 計 12 回
- ・ケース会議 毎月 1 回 計 12 回
- ・工賃算定会議 毎月 1 回 計 12 回
- ・給食会議 未実施(コロナ・人員配置の不足の為。嗜好調査は年 2 回実施)

10. 安全管理・衛生管理

① 安全管理

総合防災訓練(地震) 11/28
避難訓練実施(火災) 1 回 5/25

消防設備点検 2回 6/9、12/2 (三栄防火)
消防自主点検 3回 4/12、11/9、2/10
不審者対応訓練 1回 10/19

② 衛生管理

施設内大掃除 8月、12月
衛生知識の普及指導として毎日手洗い、うがい、歯磨き実施
生ゴミ処理、外回りのゴミ拾い等を実施
利用時間終了後の施設内消毒を毎日実施

1 1. 備品等購入及び建物改修

- 建物改修・構築物等
 - ・防犯カメラ増設工事 6月
 - ・外部階段塗装(非常階段) 9月
 - ・風除室 天井防水工事(ドレン部分改修工事)※腐食の為 1月

1 2. 関係機関との連携

コロナ禍ではありましたがリサイクル回収やボランティア活動等で感染症対策を徹底し、地域の方との交流や関係性を深めることが出来ました。また、他事業所やグループホーム等との連絡を密に行い、利用者の体調、服薬、通院に関する情報の共有・サービスの提供に努めました。

V. 令和4年度 地域生活支援センター柿の木苑

(介護サービス包括型指定共同生活援助) 事業報告

1. 運営について

- ① 7月22日に1号館で最初の新型コロナウイルス感染症の陽性者1名判明。判明した時にはすでにほかの方にも感染が広がっており、クラスターとなりました。
- ② 2名の退所者がありました。1名は認知症対応高齢者施設へ入所、1名は、家族及び本人の希望により市営住宅へ入居し、地域移行しました。
- ③ 12月に新しく利用者1名が入居しました。

2. 年度重点目標における反省及び成果

- ① 人材の定着
 - ・入職した職員に対しても、利用者個別の対応を深めていくよう指導していきたいと考えています。
- ② 入居者様が安心して暮らせるようにする。
 - ・7月にクラスターが発生しましたが、2号館の利用者に感染することなく収束出来ました。
 - ・コロナ感染対策については令和5年3月13日以降もこれまでどおり、グループホーム内マスク着用、うがい手洗い、手指消毒の励行、朝と帰宅時のバイタルチェックを継続します。
 - ・介護支援について
 - 事故なく介助を行うことが出来ました。
 - 職員の体力的な問題があり負担を減らすよう調整しました。
 - ・支援技術の向上
 - オンライン研修を積極的に実施。各職員が月1回以上視聴し支援技術の向上に努めました。
 - グループウェアを使用した申し送りで利用者の状況を共有するようになりました。
 - ・コミュニケーション
 - 定期的なケア会議の開催ができず今後の課題です。
 - ・地域交流
 - コロナ禍のため町内会総会、530運動、花ロード植栽などが中止となりました。
- ③ ほぞの3号館開設準備

今年度はコロナ禍のため3号館の開設準備を延期しました。

1号館 目標稼働率 95% 実績 82.4%

2号館 目標稼働率 80% 実績 70.4%

コロナ禍のため稼働率が低下しました。今後は安定運営が目標です。

④ BCPの策定と訓練の実施

- ・コロナの発生によりBCPの实地検証をすることが出来ました。細かな変更を加えてより良い計画を目指していきます。

⑤ 自己評価票の改善点の向上

- ・サービス提供について

利用者支援の統一を柱に申し送りを徹底しました。不十分な部分もありますが今後も継続していきます。

- ・保健衛生・健康管理の徹底

新型コロナウイルス感染症の対応の難しさを実感しました。感染症対策は引き続き行っていきます。

インフルエンザ感染者発生はありませんでした。職員、利用者とも全員予防接種を実施しています。

健康管理については、朝夕2回の検温と血圧測定を実施し、体調の把握に努めました。

定期通院の同行をしている利用者様が現在7名で、服薬管理をしている方は11名です。

利用者、職員ともうがい、手洗い、マスクの着用、咳エチケットはコロナによる制限が緩和されたのちも継続する予定です。

- ・家族との連携

外泊の送迎時や訪問時にご家族様とコミュニケーションをとるようにしました。

- ・関係諸機関との連携

日中活動の事業所との連絡調整を行い、利用者様の状態把握に努めました。特にコロナ陽性者が発生した事業所があり、その事業所に通う利用者については、事業所が再開するまでの間、日中支援で対応しました。

- ・非常災害対策

避難訓練年6回実施

総合防災訓練(火災想定)1回実施

避難訓練(地震想定)3回実施

火災想定訓練1回実施

洪水対策訓練は図上訓練として行いました。(市報告書提出)
千島海溝・日本海溝周辺海溝型地震における避難対策計画作成(市、県に提出)

・入院時・緊急時の支援
利用者 2 名実施

・夜間支援体制の充実
1 号館に常駐の夜勤職員を 1 名配置。1 回以上の見回り実施、その他はナースコール、内線電話での都度対応。

3. 職員体制 (令和 5 年 3 月 31 日現在)
管理者 1 名 (サービス管理責任者、生活支援員兼務)
生活支援員 4 名
世話人 4 名 (うち非常勤 3 名)

4. 人事異動
入職 令和 5 年 1 月 1 日付 生活支援員 1 名

5. 勤務体制
勤務：夜勤 15:00～翌 9:00
日勤 9:00～18:00/10:00～19:00
中番 10:00～15:00

6. 定員及び利用状況

定員 14 名
入居者 12 名 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

(1) 年齢別

年齢	男	女	合計
～19	0		0
20～29	1	1	2
30～39	1	0	1
40～49	1	1	2
50～59	3	2	5

60～	0	2	2
合計	6	6	12
平均年齢	45.8	51.3	48.5

(2) 居住地別（支給決定先）

居住地	八戸市	三戸町	階上町	五戸町	合計
人数	9	0	1	2	12

(3) 手帳種別（重複あり）

障害 手帳	精神 1級	愛護 A	愛護 B	身体 1級	身体 2級
人数	2	4	5	2	2

(4) 障害程度区分

区分	6	5	4	3	2
人数	1	4	6	1	0

※平均 4.4 佐藤様 8月より区分 5→4に変更

(5) 経済状況

経済状況	男	女	合計
年金受給	5	5	10
生活保護受給	1	1	2
合計	6	6	12

(6) 令和4年度 稼働率

1号館（定員7名 入居者6名） 目標稼働率 95%

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年集計
営業 日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
登録 者数	区分6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	区分5	4	4	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	
	区分4	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	
	区分3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
延べ 利用	区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	区分5	114	111	116	92	40	53	52	50	55	48	49	57	837
	区分4	30	31	30	33	47	58	58	54	59	59	55	62	565

者数	区分3	30	30	30	30	29	28	22	25	29	28	28	31	340
	合計	204	203	206	175	147	169	163	159	174	166	160	181	2107
延べ定員		210	217	210	217	217	210	217	210	217	217	196	217	2555
稼働率		97.1	93.5	98.1	80.6	67.7	80.5	75.1	75.7	80.2	76.5	81.6	83.4	82.4
1日平均		5.77人												

2号館（定員7名 入居者6名）目標稼働率 80%

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年集計
営業日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
登録者数	区分5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	区分4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	
	区分3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	
延べ利用者数	区分5	47	38	56	39	34	46	41	29	39	38	38	42	487
	区分4	90	93	90	93	93	90	93	90	104	107	94	114	1151
	区分3	30	31	30	27	22	30	0	0	0	0	0	0	170
	合計	167	162	176	159	149	166	134	119	143	145	132	156	1808
延べ定員		210	217	210	217	217	210	217	210	217	217	196	217	2555
稼働率		79.5	74.7	83.8	73.3	68.7	79.0	63.8	56.7	65.9	66.8	67.3	71.8	70.8
1日平均		4.93人												

(7) 入・退居者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入居	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
退去	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3

(8) 体験受入状況及び見学

問い合わせ9件 体験利用2件

7. 生活支援実績

○健康管理

血圧測定 毎日実施12名。他の方は不調時実施。

- 体重測定 月初1回
- 検温 毎日朝夕
- 定期通院 毎月7名
- 服薬管理 11名
- 室内行事 5月25日 合同誕生会
12月23日 クリスマス会・忘年会
行事食 5月5日、1月1日、3月3日
- 外出行事 コロナ禍により中止
- 町内会行事 コロナ禍により中止

8. 福祉サービスの評価と改善

①第三者委員面談

今年度8月よりオンブズマンに面談依頼

8月から3月まで毎月訪問面談で計8回実施

②面談結果報告

面接人員 延80名

面接者：オンブズマン1名

苦情なし。利用者間で相性が悪い方同士の苦情はあり。

オンブズマンからの所感

- ・利用者の人間関係は概ね良好でほとんどの利用者は表情も明るく穏やかに過ごしています・
- ・利用者の両親の高齢化に伴い、入院や死別といったことに直面することがあるが、職員が葬儀に送迎したり利用者の不安な気持ちに寄り添ったりと大きな力になっていると感じた。
- ・利用者本人の健康管理にも気を配り必要があれば利用を促したり、心配し過ぎな場合は様子を見るように促したり適切に対応がなされていると感じた。
- ・入浴などの日々の生活においても、各々が日常のことが出来るように各々のリズムを大切に、職員が適切に関わっていると感じた。

9. 研修実施状況

日程	研修	主催	参加者
12月2日	地域防災協会総会	地域防災協会	管理者

10. 地域交流

町内会定時総会 コロナ禍のため中止

他の行事についても同様に中止

1 1. 会議等

- ・部門長会議 毎月1回 12回
- ・職員会議 2回(単独)
- ・ケア連絡会 毎月1回 12回
- ・個別支援計画の見直し(作成) 作成1回
モニタリング半年ごと

1 2. 安全管理・衛生管理

- ・BCP(業務継続計画)は感染症については手直し予定。
- ・災害についてのBCPは令和5年度中に作成予定です。

① 安全管理

- 総合防災訓練 2回 5月30日、9月9日(夜間想定)

- 避難訓練実施 4回 6月12日(地震想定)
11月19日(夜間想定)
12月24日(火災想定訓練)
2月11日(地震想定)

- 洪水対策訓練 1回 10月9日(図上訓練)市に報告済
- 消防設備点検 年2回 6月9日、12月2日
- エレベーター点検 年2回
- エレベーター法定点検(市報告用) 2月
- 自動ドア点検(2号館) 年2回 4月、10月

② 衛生管理

- ・毎朝夕の手すり、椅子、ドアノブ等の除菌(次亜塩素酸薄め液にて)
- ・毎日手洗い、うがい、歯磨き実施
- ・生ゴミ処理、外回りのゴミ拾い等を実施
- ・1・2号館グリーストラップ清掃 9月12日、2月13日

1 3. 健康管理

- ・職員健康診断(健診センター) 9月5名、3月3名(夜勤者)実施
- ・コロナ対策として3月末までで全員が3回以上ワクチン接種済みです。

1 4. 備品等購入及び建物改修

- 建物改修・構築物等

(ほぞの1号館)

- 5月12日 ココセコムバッテリー交換
- 6月14日 クッキングヒータートップコート交換
- 6月15日 不凍液ポンプ交換
- 9月15日 電気保安点検で電気メーター交換

(ほぞの2号館)

- 自動ドア風よけ設置

○ 寄贈・購入

- 6月3日 血圧計購入
- 7月11日 複合機リース
- 8月23日 運搬用台車購入
- 9月11日 2号館 テレビ、洗濯機購入（落雷による故障のため）
- 8月18日 2号館 ドライヤー購入
- 11月29日 CO2測定器（寄贈）

VI. 令和4年度 委員会事業報告

VI-1. 事故防止委員会活動報告

①年間スケジュール

	活動	内容
4月	月別目標	報告・連絡ミス・職員不足による事故防止
5月	月別目標	接触・転倒が無いように見守り声掛けをしましょう
6月	計画会議	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー顔合わせ ・年間活動計画等の話し合い ・ヒヤリハット報告・検証 ・事故報告・検証
	月別目標	送迎メンバー・忘れ物・車椅子固定の確認をしましょう
7月	月別目標	利用者様私物・施設備品の破損に気をつけましょう
8月	月別目標	薬の提供ミスには気をつけよう
9月	定例会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告・検証 ・事故報告・検証 ・今後の課題についての話し合い
	月別目標	報告・連絡ミス・職員不足による事故防止
10月	月別目標	接触・転倒が無いように見守り声掛けをしましょう
11月	定例会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告・検証 ・事故報告・検証 ・今後の課題についての話し合い
	月別目標	送迎メンバー・忘れ物・車椅子固定の確認をしましょう
12月	月別目標	利用者様私物・施設備品の破損に気をつけましょう
1月	月別目標	薬の提供ミスには気をつけよう
2月	定例会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット、報告・検証 ・事故報告・検証 ・1年間の事例分析 ・今後の課題についての話し合い
	月別目標	報告・連絡ミス・職員不足による事故防止
3月	年度末報告	・内部研修にて事例(ヒヤリハット)及び改善策の発表
	月別目標	送迎メンバー・忘れ物・車椅子固定の確認をしましょう

② 反省

- ・ヒヤリハットの報告漏れが数件発生していた。提出時の手順の周知を徹底していきたい。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、各事業所・部署での時間調整が難しく、予定年間スケジュール通りに会議を開催することが出来なかった。また、全員参加での会議が開催出来ない時があった。
- ・事故件数は法人通して転倒・転落3件、けが3件、喫茶での異物混入1件、物損1件、車両事故7件の計15件。

③ 月別ヒヤリハット発生件数（柿の木苑）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3件	10件	3件	3件	0件	1件	1件	4件	3件	4件	2件	2件	36件

発生場所 食堂・・・4件 トイレ・・・2件 更衣室・・・1件 多目的室・・・8件 就労 作業フロア・・・2件 駐車場・・・1件 車内(事務用務含む)・・・2件 送迎先・・・2件 屋外(敷地内)・・・2件 根城カフェ・・・2件 2棟会議室・・・1件 利用者宅・・・1件 その他・・・7件

種別 重複回答あり 確認不足・・・24件 注意不足・・・20件 見守り不十分・・・13件 本人の危機察知能力不足・・・11件 声かけ不十分・・・10件 認識不足・・・11件 連絡不足・・・7件 環境整備不足・・・6件
--

④ 月別ヒヤリハット発生件数(ワーク柿の木苑)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1件	0件	1件	3件	0件	2件	3件	0件	4件	2件	0件	2件	18件

発生場所
 作業室・・・3件
 食堂・・・4件
 外出先・・・5件
 玄関・・・1件
 屋外（敷地内）・・・2件
 階段・・・1件
 その他・・・2件

種別 重複回答あり
 注意不足・・・13件
 確認不足・・・11件
 本人の危機察知能力不足・・・9件
 声かけ不十分・・・6件
 見守り不十分・・・4件
 認識不足・・・3件
 環境整備不足・・・1件

⑤ 月別ヒヤリハット発生件数(ほぞの1号館・2号館)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4件	0件	3件	2件	2件	0件	0件	6件	5件	2件	2件	2件	28件

発生場所
 食堂・・・7件
 玄関・・・4件
 居室・・・3件
 屋外（敷地内）・・・2件
 洗濯室・・・1件
 トイレ・・・1件
 外出先・・・1件
 リビング・・・1件

種別 重複回答あり
 確認不足・・・18件
 認識不足・・・13件
 注意不足・・・9件
 本人の危機察知能力不足・・・7件
 連絡不足・・・6件
 見守り不十分・・・5件
 声かけ不十分・・・4件
 環境整備不足・・・2件

VI-2. 感染症予防委員会 活動報告

① 年間スケジュール

	予定	内容
4月		
5月	健康診断 定例会議	嘱託医へ依頼し実施、 顔合わせ、年間活動計画等の話し合 い、コロナウイルス対策等話し合い
6月	胸部 X 線撮影 食中毒対策	食中毒予防のお知らせ配布
7月	歯科検診	柏崎歯科へ依頼し実施、結果の配布
8月	熱中症対策	お知らせ配布
9月		
10月	定例会議	各施設・部署での利用者様の体調確 認、感染症対策について周知
11月	健康診断 インフルエンザ予防接種 ノロウイルス対策	嘱託医に依頼、実施 予防接種のお知らせ配布、実施 ノロウイルス対策セットの確認
12月	感染症予防についての研修	研修に参加、内部研修の実施
1月		
2月	定例会議	各施設・部署の感染症状況の確認
3月		

② 年間目標：感染症予防に対する利用者、職員の知識の向上を図る。

施設内の感染症を予防することに努める

- ③ 反省：
- ・職員間の時間が合わず、定例会議は開催できないこともあった。
 - ・コロナウイルス感染者が、法人内・関係機関ともに多数出てしまった。
 - ・国が定めるガイドラインに沿って対処し、コロナ対策をさらに強化し取り組んだ。
 - ・歯科検診はコロナウイルス感染者増加のため中止となった。
 - ・法人研修にて嘔吐物処理方法を、実践を通し見直すことができた。
 - ・来年度も感染症予防について、職員を含め、利用者様やご家族様へも周知を図っていきたい。

VI-3. 虐待防止・身体拘束廃止検討委員会活動報告

① 年間スケジュール

月	活動	内容
6	定例会議①	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー顔合わせ ・年間活動計画等の周知・確認 ・相談・通報・届出受付票の保管場所の確認 ・障害者虐待防止マニュアルの周知 ・今後の予定の確認 →『緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書』のリストアップをし検討する。 →職員対象のチェックリスト内容を一部変更。(質問項目を分かりやすく具体例を加える) →虐待防止のために行っていた『月間目標』を『年間目標』に変更し、チェックリストと一緒にアンケートを行う。・・・次回の定例会議にて決定する。
10	定例会議② 法人研修①	<ul style="list-style-type: none"> ・施設での虐待発生状況 ・『緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書』に同意を得ている利用者様のカンファレンス実施。→カンファレンス内容は、記録用紙に記入。 ・虐待防止のための『月間目標』・『年間目標』は、行わず、虐待発生状況の様子をみていく。 ・10月17日『身体拘束について』法人研修実施。 →身体拘束に関する動画鑑賞、「虐待・身体拘束内部研修用テスト」を実施。
12		<ul style="list-style-type: none"> ・職員チェックリスト記入・集計
2	法人研修②	<ul style="list-style-type: none"> ・2月22日実施 →虐待についての動画鑑賞、事例の読み合わせ、虐待防止についての振り返りシート記入。 ・虐待報告

② 反省

- ・今年度から、虐待防止のための月間目標を廃止し、虐待状況を様子見ている。
→虐待報告はなし。

- チェックリストの質問項目を見直し、例などを付け加えて、回答しやすくする事が出来ている。その為、無回答率が減少している。
- 今年度から、身体拘束廃止検討委員会と合同で活動を行なっている。各委員会の活動内容を把握しながら、連携して取り組むことが出来ていた。
- 法人研修では、10月に『身体拘束について』と2月に『虐待防止』についての内容で行なっている。どちらも、動画やアンケートを使用しながら、周知することができた。
- 定例会議について、上半期は定期的に行うことが出来ていたが、下半期からは各部署の調整が難しく行うことが出来なかった。法人研修前には、各委員に内容などを周知してから行なっている。

VI-4. 研修委員会活動報告

① 年間スケジュール

法人内部研修実施一覧

月	内容	講師
6月23日	法人理念・事業計画について	豊山信子(理事長)
7月20日	ハラスメント研修	石橋一恭社労士
8月17日	Web 講義 新人職員のための基礎知識 「ケース記録の書き方」 「発達障害の特徴」	サポーターズカレッジ
10月12日	防犯訓練	セコム株式会社
10月17日	虐待防止・身体拘束について	虐待防止・身体拘束廃止検討委員会
11月16日	安全運転について	伊藤俊(安全運転管理者)
12月21日	嘔吐物の処理の仕方について	感染症予防委員会
1月19日	Web 講義 新人職員のための基礎知識 「チームワークを考える」 「家族との対応ってどうすればいいの？」	サポーターズカレッジ
2月22日	障がい者虐待について	虐待防止・身体拘束廃止検討委員会
3月24日	事故及びヒヤリハット報告について	事故防止委員会

② 実習受入状況

今年度の実習生受入れは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため無し

③ 反省

- ・4月・5月の法人研修は新型コロナウイルス感染症拡大防止もあり実施を控えたが、それ以外は毎月法人研修を実施できた。
- ・外部研修が計画どおりに実施できなかったが、有料の Web 研修を活用した。

VI-5. 地域交流委員会活動報告

① 年間スケジュール

月	行事	内容
4	根城町内会定時総会	事業報告、事業計画、役員の改選等について
6	長坂公園 環境整備	長坂公園草刈り、石拾い、ゴミ拾い等
7	長坂公園 環境整備	長坂公園草刈り、石拾い、ゴミ拾い等
8	長坂公園 環境整備	コロナ感染者発生により中止
1 2	ゴミ拾い	柿の木苑～江南小～ 熊野堂交差点～裁判所前
2	除雪	バス停周辺、交差点入り口、他

その他

- ・年間を通して、地域独居高齢者宅へのゴミ回収事業
(毎週水曜日、100円/回、支払いは月単位又はその都度)

② 反省

- ・新型コロナ禍の社会情勢や8月のクラスター発生等により、中止となった活動がありました。今年5月に感染症法上2類から5類へ移行される事も踏まえ、様々な活動の再開が見込まれるため、地域交流委員としても積極的に活動に参加していき、地域交流や地域貢献に努めていきます。
- ・ゴミ拾いは当初の予定にはありませんでしたが、積極的に取り組みました。交通量の多い通りも含めた広範囲でのゴミ拾いでしたが、事故等もなく遂行できました。今後も不定期になると予想されますが、範囲を限定せずに取り組んでいきます。
- ・各作業中はケガや事故、トラブルも無く、安全に配慮しながら遂行できました。

VI-6. 広報委員会活動報告

① 年間スケジュール

	行事	内容
4	行事計画策定、顔合わせ ブログ更新	
5	ブログ更新	
6	ブログ更新	
7	ブログ更新	
8	ブログ更新	
9	ブログ更新	
10	ブログ更新 HP 更新	情報公開ページ更新
11	『根の城』広告掲載 ブログ更新	
12	ブログ更新	
1	ブログ更新	
2	ブログ更新 HP 更新	写真等修正
3	HP 更新 会報発行 次年度活動計画策定	情報公開ページ更新 パーシモン通信 19 号

② 反省

- ・パーシモン通信を3年ぶりに発行できてよかった。

VI-7. 防災委員会活動報告

① 年間スケジュール

月	行事	内容
5	八戸地域防災協会総会	不参加
7	防災委員会①	コロナ発生のため中止
11	防災委員会②	コロナ禍のため中止
12	八戸地域防災協会研修会参加	委員長参加
1	避難確保計画報告書提出	八戸市障害福祉課へ提出
2	防災委員会③	活動計画打ち合わせ

② 振り返り

- ・会議は3施設そろわず情報共有を行う。
- ・7月からコロナ感染者が出たため法人全体でその対応に追われる。
- ・コロナ発生時はBCP(業務継続計画)に基づきその対応を行い、いろいろ改善点が出たので見直しが必要。

③次年度課題

- ・防災マニュアルの周知と見直しを引き続き行う。
特に参集範囲と人員配置
- ・非常用の物品の管理・保管実施
消費期限等の確認
- ・BCP(事業継続計画)を作成
地震
火災
洪水
- ・BCP(事業継続計画)感染症を見直し。

- ・その他考えられる業務継続上のリスク洗い出し

令和4年度

事業報告の附属明細書

社会福祉法人ぶさん会

令和4年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。